

○資料2 福島区区政会議について

番号	委員名 (所属団体等)	ご意見・ご質問
1	中野委員 (地域活動協議会 (海老江西))	<p><区政会議委員の委託の時期について></p> <p>委員の委託が10月1日で任期は2年となっています。就任してから初めて参加する今回の会議が第三回となっております。</p> <p>その年の6月が第一回なので、いきなり三回目からの参加になります。感覚的には第一回目からのスタートの方がしっくりきます。</p> <p>特にどの回からスタートすると言う決まりはないのでしょうか？</p> <p>私は2年前に参加して初めての会議が第二回目で、内容がもう出来上がって入っていくのに苦労しました。</p> <p>出来レースのような会議に出ても仕方ないと感じました。</p> <p>今回新たな委員が6名いらっしゃいますが、戸惑うのではないのでしょうか。</p> <p>任期のスタートを4/1とか5/1とかにできないでしょうか？</p> <p>そうしたら第一回の会議からのスタートになります。</p> <p>何故10月なのでしょうか？</p> <p><区政会議の構成の全体会と部会に関して></p> <p>令和6年9月に部会が開催されました。</p> <p>令和7年9月は急遽部会をやめて全体会にしました。</p> <p>これは委員全員で検討する方がいいとのことでした。</p> <p>令和8年9月は部会開催に代えて全体会をする予定となっております。</p> <p>今後は部会はなくなるのでしょうか？</p> <p>部会はあるほうがいいように思います。</p> <p>毎回全員でやっていると発言するのに時間が足りないように思います。</p>

令和7年度 第3回福島区区政会議事前にご提出いただいたご意見・ご質問一覧

○資料4－2 福島区将来ビジョン（案）について

番号	委員名 (所属団体等)	ご意見・ご質問
1	浅川委員 (公募により選定)	<p>その他のトピックスⅢ：西野田工科高等学校跡地について</p> <p>西野田工科高等学校の跡地について、地元の声を踏まえてご検討いただけること、ありがとうございます。</p> <p>広い敷地を活かし、マンション建設だけでなく、子育て世代が安心して利用できるグラウンドや公園の併設をご検討いただければ、大変嬉しく思います。</p> <p>現在、大開地域には公園が少なく、子どもたちが思いきり走り回れる場所が限られているのが現状です。たとえば大開公園は、地域の子どもたちが集まる貴重な遊び場ですが、小学生や幼稚園児が元気に遊ぶ中で、1～2歳の小さなお子さんには少し危険な場面も見受けられます。年齢に応じて遊ぶスペースが分かれていれば、保護者も安心して見守ることができるのではないかと感じています。</p> <p>また、吉野グラウンドや下福島グラウンドのような広い場所もありますが、校区外のため気軽に利用できません。可能であれば、学校区ごとに大きな公園や運動施設が整備されることで、地域間の格差も解消され、より多くの子どもたちがのびのびと過ごせる環境になるのではないでしょうか。</p> <p>さらに、高齢の方々も気軽に立ち寄れるような緑地やベンチのある憩いの場があれば、世代を超えた交流が生まれ、地域のつながりも深まるのではないかと思います。</p> <p>地域のみんなが集える、あたたかくて安心できる場所になることを心から願っております。どうか前向きにご検討いただけますよう、よろしくお願ひいたします。</p>

令和7年度 第3回福島区区政会議事前にご提出いただいたご意見・ご質問一覧

○資料5 令和8年度福島区運営方針（素案）について

資料6 令和8年度福島区運営方針（素案）経営課題ごとの取組（素案）について

番号	委員名 (所属団体等)	ご意見・ご質問
1	中野委員 (地域活動協議会 (海老江西))	<「安全・安心なまちづくり」に関する取組に関して> 市民協働型放置自転車対策で結構な予算があります。 以前にも話があったかとは思いますが、どのような対策でいくら使うのでしょうか？

番号	委員名 (所属団体等)	ご意見・ご質問
2	森委員 (地域活動協議会 (海老江東))	<p>福島区運営方針（素案）について 1) 「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」」に関して 「これからも住み続けたいまち」づくりのために、「地元への愛着」を育んでいくために問題点である「人のつながりの希薄化」に対して、「世代を超えた互いの協力」を実現するために令和8年度に実施する対応策の具体例を2, 3個、区政会議で説明して頂きたい。</p> <p>2) 経営課題1に関して 大きな課題は2点 ①地域活動の担い手がいない ②大型マンションの住人など、新たに区民となった世帯の地域活動への参画意識がない これらの対策として、『デジタルツール』による情報発信、およびデジタルスキル向上研修やデジタルスキルの高い層へのアピールなどが実施されることになっているが、今年度までの活動を継続するための予算取りしか行われていない この対応への予算配分（金額感）を明確にするとともに、GOAL（達成基準）の追記を望みます。 提示されている評価指標は、継続される対応に関するアンケートとなっており、ほぼ現状維持の水準なので、適切な指標とは考えにくい評価指標は、問題点の解決状況が分かるように以下のような数値として頂きたい 指標1：構成団体の年代別人数の変化 構成員5%増、平均年齢2歳若返る 指標2：大型マンション等の新規町会加入数 各地域1以上</p> <p>3) 経営課題2について こちらの評価指標も「参加者へのアンケート」が含まれています SDGsな考え方として、紙とエンピツでのアンケートは好ましくないです QRコードを読み取って、アンケートサイトに誘導し、結果をデジタルで集計するよう外部業者に発注するなどを検討ください ココでも問題なのは、訓練や講習会などのイベントの7参加者が固定化されている点です。 毎年、同じ人が、参加しているだけ では、啓蒙・啓発が進まないです。 アンケートでは必ず、参加回数を取り、初めて参加された人数を評価指標に加えるべきです さらに、初めて参加された方には、どのようにしてイベントを知ったかなど 追加のアンケートを行い、さらなる新規の参加書の獲得に向けた分析が必要です。 ※アンケート集計・解析のデジタル化を行うために予算化と評価指標の明確化をお願いします</p> <p>ずっと、申し上げていますが、「中学生の被災地訪問（体験学習）」の予算が300万円弱 これは、費用対効果が望めないのでないでしょうか？ 数校、数人の体験学習の結果発表で、何人の区民が安心安全にくらせるようになると言うのでしょうか？ この事業の費用は、先に述べたアンケートのデジタル化などに振り分けられるべきと考えます</p>

番号	委員名 (所属団体等)	ご意見・ご質問
2	森委員 (地域活動協議会 (海老江東))	<p>4) 経営課題3について 資料上に記載されている「美ママ講座」と言うキーワードは、優先すべき課題とは感じさせないので、削除されることが望ましいと思います。 ※この講座を優先して例示する意図が理解できません 区民のみなさんにとって、もっと重要性をアピールできる講座を記載するほうが良いです</p> <p>5) 経営課題4に関して ココは、区のビジョンでも強調された「健康寿命の延伸」への施策をアピールするところですよね。 「アスマイル」は、18歳以上の府民ならだれでも参加可能 「特定健康診査」、「がん検診」も大阪市主体での取り組みですよね 区としての取り組みは? 区のビジョンに挙げているのに、具体的な施策は無し ではおかしいですね。 「健康寿命延伸」の施策の予算化と評価指標の記載は必須ではないでしょうか?</p> <p>6) 経営課題5に関して 評価指標について、LINEの登録者数の絶対数ではなく、前年度比50%Upのように記載することで、区の注力度を表現する方が良いかと 区民の数から2千人は、どうかと 大阪市の他の区と比較し「区民数と登録者の比率」を、市内トップにする と言うような目標でも良いかと思います</p> <p>また、「ざこばの朝市」は、すでに知名度、集客度があるので、新たに予算を投入する必要性・必然性は低いので、新たに始める「ノダヤオン」に予算を配賦すべきと考えます。 駅前と言う立地から、平日に区外から来る人にもアピールできるのですから、こちらに投資する方が効果を望めますよね。</p>